

# 編集後記

今回、三宅島民は今までの噴火と全く異なる噴火に遭遇し、前例のない厳しい試練を体験しました。噴火パターンが全く異なり溶岩はほとんどなく山頂が一気に500メートル没、火口から大量の火山ガスを排出、2,500メートルという恐ろしい噴火でした。4年5ヶ月にわたる長期避難生活、職務のため自家生活がままならない働き手、生計維持のため夫婦別行動、前例のない中で関係機関との連携と苦闘、ストレスと体調悪化、止まらぬ火山ガス、7年の間からの貴重な教訓を後世に残し伝えること、多くの方々からご支援を頂いた方への義務感、志半ばにして倒れた多くの皆様たちへの哀悼魂であると考え噴火災害記録誌をまとめました。

編集方針・体制は次の通りです。

## 編集方針・編集体制

編集方針	(1)噴火—避難—帰島—復興の7年の歳月がわかる構成にする (2)村役場の活動を中心にする (3)島民の意識を記載する (4)科学的なデータを記載する
編集体制	(1)編纂委員会(5人:総務課長・関係機関) (2)庁内WG(課長級)

(株)社会安全研究所に協力をお願いし、完成は帰島三周年(平成20年2月1日)を目指しました。困難と多忙とが交錯する中での編纂であったため、不十分な箇所があるかと思いますがご寛容賜れば幸いであり、本災害記録誌が少しでも皆様のお役に立てれば幸甚です。

今回の災害に際し、国・東京都をはじめ全国から暖かいご支援を頂戴いたしました。三宅島は今復興の緒につくことが出来たことをご報告し、衷心より感謝申し上げます。

委員長 窪寺 昇

## 記録誌編纂委員

氏名	所属・役職等
窪寺 昇	前 三宅島民生児童委員協議会長
浅沼 和男	前 三宅村教育長
金井 正歩	三宅村シルバー人材センター事務局長
守屋 廣次	三宅村森林組合事務局長
坂上幸一郎	三宅島災害・東京ボランティア支援センター

## 庁内WGメンバー

氏名	所属・役職等
竹山智洋見	財政課長(企業課長)
石井 規久	産業振興課長(産業観光課長)
吉田 稔彦	地域整備課長
山上 力	復興政策室主幹(村民課長)
島村 幸明	企業課長(帰島対策課調整係長)
佐久間 忠	総務課長
高松 市郎	教育課長
三宅 規之	消防本部長(予防係次席)

( )内は帰島前所属

## 平成12年(2000年)三宅島噴火災害の記録

発行日 平成20年2月1日  
 編集 平成12年(2000年)三宅島噴火災害記録誌編纂委員会  
 (株)社会安全研究所  
 発行 東京都三宅村